

2018 年度卒業式 学長式辞

2019 年 3 月 16 日

神田外語大学外国語学部卒業生の皆さん、大学院言語科学研究科修了生の皆さん、卒業ならびに修了、誠におめでとうございます。また、ご臨席賜りましたご家族の皆様にも、教職員を代表して、心よりお慶び申し上げます。

外国語学部卒業の皆さんは、神田外語大学で、外国語の習得に挑戦し、4年間の厳しいカリキュラムを終えました。母語と異なる言語学習に取り組むことは、強い意志に支えられた努力の積み重ねであり、簡単なことではありません。皆さんは、それを立派にやり遂げ、今日という日を迎えました。

国際共通語である英語については、それぞれのレベルに応じて磨きをかけたことと思います。如何なる職業につこうとも、どこに住もうとも英語でコミュニケーションを図る機会は、今後ますます増えるでしょう。

また、英語以外の言語を初習言語として専攻した方々の達成感、英米語学科や国際コミュニケーション学科のそれとは一味違うことでしょう。4年前に初めて接し全く意味が理解できなかった音声が、今やひとつひとつ意味を持つ言語として聞こえます。その言語の文章を認識して脳を刺激していることと思います。ぜひ、自分の努力で遂げた進化と獲得した付加価値を実感して下さい。

大学院修了生の皆さんは、日本語学専攻の課程を終えられ、社会の要請に実践的に応えるプロフェッショナルとして、より一層のご活躍を祈念いたします。

ただし、皆さん、まだ道半ばです。卒業後も語学やその他専門分野の学びを継続してください。

これから新たな世界に歩みを進める皆さんに、3つの言葉を贈ります。

1つ目は、「多様性と戯れる」ことです。モノの感じ方や考え方は人によって異なり、住んでいる地域や気候風土によっても左右されます。また、言葉の文法構造によっても違いが生じると思います。「違う」というのが当たり前であり、倫理観や歴史観も様々です。

私は学長に就任する以前は、40年間にわたり商社で仕事をし、異なる言語や文化、宗教、民族に興味を持ち続け、世界中の多種多様な人たちと接してきました。顔貌、言語や背景は異なっても気の合う人もいれば、反対に、似た出自であっても波長の合わない人など、いろいろな人々との出会いがありました。そのおかげで、面白おかしい人生を送ることができました。

ただし、そこには秘訣があります。それは、「多様性と戯れる」ことです。その意味するところは、自分と背景を共有する人たちはもとより、異なる言語や民族、宗教を持つ人たちにも興味を抱き、その人たちと接し、違いを尊重し、楽しみ、そして愛おしむことです。自分の正義観や価値観だけが正しいとの考えに囚われると、人は傲慢になり、平気で他者を傷つけます。多様な価値観に触れ、自分との違いを肯定的に理解することが大切であり、そのためには、おおらかな気持ちを育むことが不可欠です。また、日本語以外の小説や映画、音楽も、多様性と戯れるための機会を与えてくれます。

2つ目は「持続力」です。皆さんは、大学での学びを通じて確実に進化しました。その原動力となったのは、「持続力」だと思います。今後、それをより一層強固なものにしてください。

例えば、英語学習の場合、日々の通勤、通学時間を利用して、スマートフォンやタブレットで、BBC ニュースや TEDなどを視聴することができます。持ち歩きが可能で、いつでも利用できる教材を活かし、身につけた学びの習慣を保持し、強化してください。また、持続力がもたらす進化の対象は、学習に限るものではありません。スポーツやボランティア活動など、様々なものに、その対象を広げてください。

私はどんなに多忙でも、どこにいても毎日必ず新聞に目を通し、本を手に取ります。また、10年間同じジムに通い、トレーナーの指導を受けて健康の維持管理に努めています。そうとはいえ、目標を立てては諦めたり、挫折したりと失敗の連続です。皆さんはこれから仕事や家庭を持つなど、環境の変化の中で様々な問題に向き合うことと思います。何事も完璧に成し遂げることは難しく、時には自己嫌悪に陥り、途中で投げ出したくなることもあるでしょう。その際は、時々休んで、再挑戦すれば良いのです。

「持続」の意味を調べると、「中断することなく続くこと」との記述がありますが、「息継ぎ」は大切です。私は、その「息継ぎ」を中断ではなく、持続力を養うための大切な休養と考えています。私の経験では、気軽に「持続」を意識するほうが長続きします。ぜひ、息継ぎをはさんだ「持続力」を養ってください。

3つ目は「批判的に考える」ことです。好むと好まざるに拘わらず AIは進化し続けます。ありとあらゆる情報が行き交う現代で、何が正しく、何が正しくないのか、自分の頭で考

え、疑うことができなければ将来人間はAIの支配下に置かれるでしょう。それを回避するには、どんな環境にあっても他人の意見を鵜呑みにせず、自らが自由に物事を考え、情報を精査し、批判的に考える習慣を身につけることです。新聞や本、インターネットに書かれていることは正しいのか、信頼してよいのか、常に疑問を抱きながら接することが大事です。

また、批判的に考える上で、自分の周辺はもとより、広く国内外の情勢や事柄に関心を持つことが重要です。現在、世界ではグローバル化と同時に、分断化が進行しています。翻って日本を見た場合、戦後平和主義を堅持し、経済成長を維持し、そして社会保障制度を拡充してきました。しかし、現在、財政、安全保障、格差、環境など様々な課題が山積みです。

若い皆さんが、これらの諸課題を自分たちの問題として捉え、政策決定に対し、より積極的に関与することが求められます。例えば、選挙投票率が高い高齢者を優遇するシルバー民主主義と呼ばれる現状に対して、若い世代は疑問を呈するべきです。種々の事柄にもっと関心を持ち、批判的に考え、そして自分の言葉で語ってください。

今日、私は皆さんに、「多様性と戯れる」「持続力」「批判的に考える」の3つをお話しました。私は、これらを実践することで、自律的に、おもしろおかしく、そしてたくましく生きることができると考えます。

さて、季節にも春夏秋冬があるように、何事にも区切りがあります。卒業は人生の大きな区切りです。アメリカでは卒業式を Commencement と呼びます。「始まり」という意味です。卒業は新しい人生の始まりでもあります。神田外語大学から新たな世界に挑んでいく

皆様のご活躍とご多幸を祈念して私の式辞といたします。本日は、誠におめでとうございます。